クリーピングベントグラス

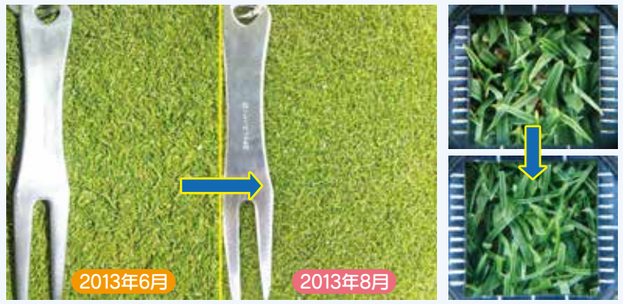
バラクーダ

11.25kg（25ポンド）／缶

インターシーディングで品質向上を実現

インターシーディングによる品質向上に最適！

既存品種に比べ、発芽・初期生育に優れ、すばやくターフをカバー。葉のきめが細かく高品質のグリーンへ変化します。



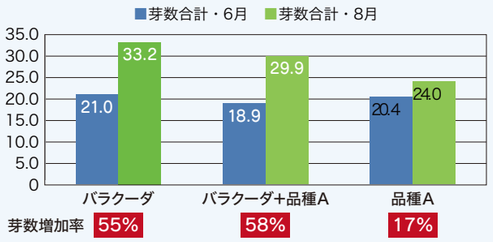
刈　　高：乗用モア4㎜ 設定（実刈高≒3.6㎜）
2012年 夏：ペンクロスの広い葉で被覆しているグリーンで芽数が少ない状態。
2013年4月：TIPスパイカー /シーダーで播種（5g/㎡）。
2013年6月：葉の広いペンクロスの間に葉の細いバラクーダの芽生えが観察できる。(播種から2ヶ月目)
2013年8月：葉が細く均一なグリーンに変化、芽数も増加。品質が高い状態で夏を越すことができた。

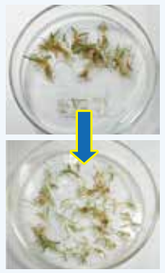
上：2013年5月24日芽数12
下：2013年11月12日芽数35
5月は1株が大きかったが11月は葉が細くなった。

4月のインターシーディングで8月の芽数が増加！

損傷を受けやすい夏季にも、バラクーダのインターシーディングにより、芽数を増加させることが出来ました。

インターシード品種と芽数の変化（本 /cm²) 静岡県内ゴルフ場





発芽、初期生育が早いバラクーダはインターシーディングに適しています。
バラクーダのインターシーディングで夏場の芽数が増え、葉が細く均一なターフになり、品質が改善しました。
バラクーダのインターシーディングの短期的な効果のグリーンの芽数増加に加え、長期的な効果ではグリーンの耐病性（炭疽病、ダラースポット病）向上が期待できます。

葉のきめが細かく高品質に！

入場者数が多い、病害の発生が多く苦労しているコースのインターシーディングに最適です。

インターシーディング後のバラクーダの芽生えとグリーンの変化
場　　所：東京都内ゴルフ場
播 種 日：2013年6月3日
前 処 理：マレードVコアラー
　　内径6mm、深さ15mm、ダブル掛け
播　　種：バラクーダ10g/㎡
発芽確認：2013年6月11日
観 察 日：2013年6月25日
　　ダラースポットの症状が見られます。
変　　化：2013年7月25日
　　ダラースポットが少なく、葉が細かくなりました。

東洋グリーン株式会社
TOYO GREEN
〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町 2-33-8

東京支店　名古屋支店　大阪支店　九州支店
土浦営業所　千葉営業所　沖縄営業所　柏技術センター

https://www.toyo-green.com

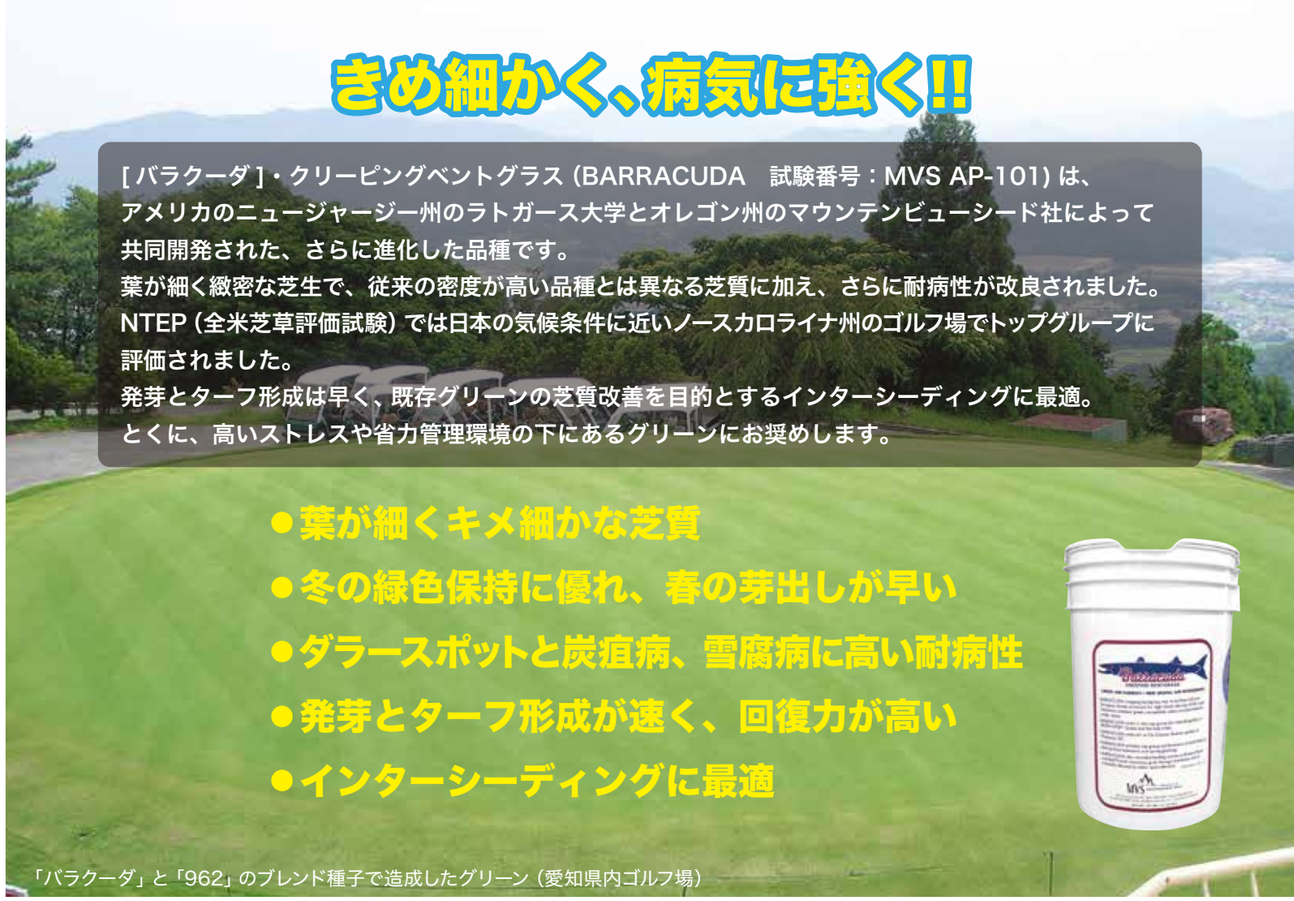
2024-7-1000

TOYO GREEN

芝草種子
Turf Grass Seed

バラクーダ

BARRACUDA CREEPING BENTGRASS



「バラクーダ」と「962」のブレンド種子で造成したグリーン（愛知県内ゴルフ場）

バラクーダ使用方法

●バラクーダクリーピングベントグラスは、ゴルフ場に、単一品種または「962」とのブレンド種子としての利用に適します。

● インターシーディング（品質向上）
1回あたり2～10g/㎡を標準として年間合計10g/㎡以上を計画し、数回に分けて播種します。品種転換の状態を見ながら播種を数年続けることで確実なクオリティアップにつながります。

●グリーン新規造成・グリーン改造（新規播種）
一般には8～10g/㎡を播種し、発芽状況に応じて2～10g/㎡程度の部分追い播きを実施します。

●暖地型芝草グリーンへのオーバーシーディング（草種転換）
コウライグリーン、バミューダグラスのグリーンにオーバーシーディングを施し、ベント化します。
新規造成に比べてやや多めの播種量（10～20g/㎡）になります。

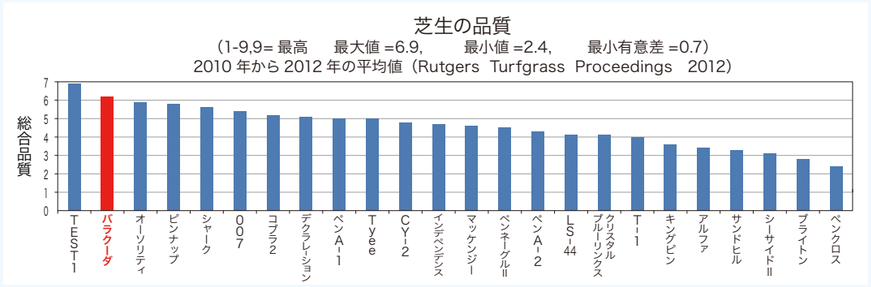
●詳しくはお近くの東洋グリーン（株）までお問い合わせ下さい。

●東洋グリーン（株）では播種造成・養生工事、インターシーディング工事等もお引き受け致します。併せてご検討下さい。

高い芝質ときめ細かな葉でクオリティアップ

過酷な気象条件でも高い芝質でクオリティアップ！

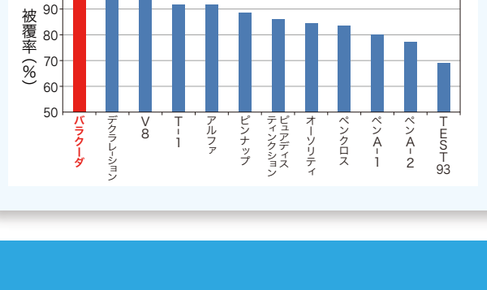
2011年、2012年過酷な夏を迎えた年の試験でバラクーダは最も良い成績を収めています。



2011年・2012年に行われた米国ラトガース大学(ニュージャージー州)での品質評価試験は、夏場の高温に見舞われ非常に過酷な条件での試験になりました。こうした中でバラクーダはきわめて良い成績を収めています。

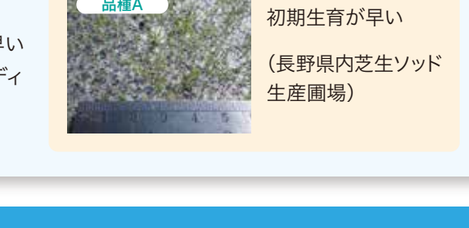
葉のキメが細かく、高品質グリーンを実現！

葉幅が細く、品質の高いグリーンを実現できます。



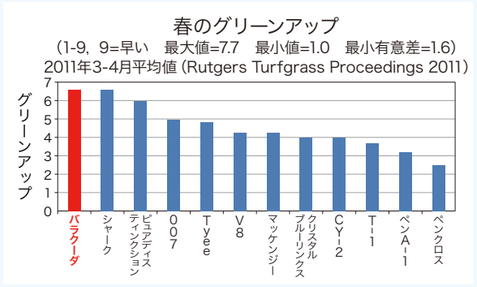
バラクーダは葉の幅が細く、キメ細かなターフを形成します。インターシーディングなどで今までよりさらに品質の高いグリーンを目指したいという場合に最適です。

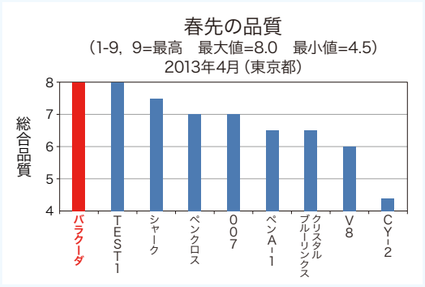
インターシーディングにより芽数が増加した事例



春の品質が高く、春の芽出しが早い!

春のグリーンアップ、春の品質が高く、年間を通して高いクオリティを維持します。





バラクーダは春の品質が高く、芽出しも早いことがわかりました。

NTEP試験でも春の芽出しが早いと評価されています。

バラクーダは春先の動きが早く、管理作業もしやすい品種です。

早い発芽と初期生育がインターシーディングに最適

発芽速度、ターフ形成速度が優れ、すばやくカバー！

すみやかな発芽とターフ形成が、美しく均一なグリーンをつくります。

バラクーダは発芽速度、ターフの形成速度、被覆率ともに優れており、播種後すばやくカバーします。

発芽初期の生育が早い品種はインターシーディングに適しています。

2013年6月29日
播種15g/㎡
2013年7月11日
発芽状況（12日目）

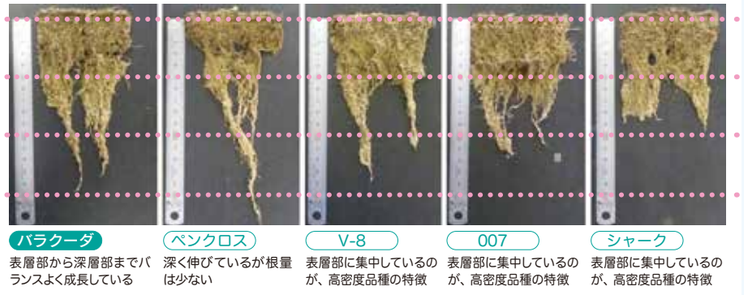
バラクーダは発芽・初期生育が早い

（長野県内芝生ソッド生産圃場）

高いストレス抵抗性でクオリティが低下しにくい

夏にも長く強健な根系を維持し、高いクオリティ！

上層・下層にバランスのとれた根系が、高い回復力・被覆力を支えます。



バラクーダは根量が多く、根長も長い強健な根系を形成。

バラクーダの夏場の根の生育は、上層だけに根が密集せず、表層（深度0 ～ 5cm付近）から下層（深度10cm前後）まで、長さ・量ともにバランスよく成長します。

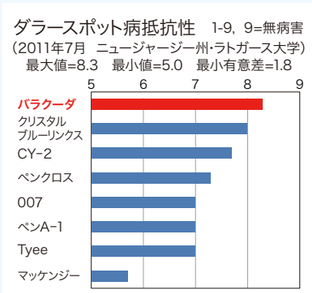
これにより、バラクーダの根の成長は暑さの影響も受けにくいと考えられます。

（2013年8月8日東京都内ゴルフ場）

高い耐病性でダメージを受けにくい

ダラースポット病に強い！

米国ラトガース大学の試験でも、日本国内の試験でもバラクーダはダラースポットに強いと証明されました。



品種Aにはダラースポット病が発生。

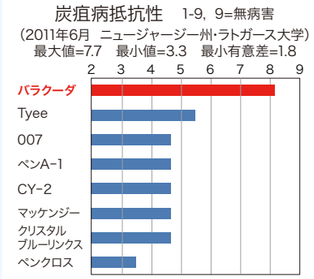
バラクーダは症状が見られなかった。

写真は発症から約1週間後の様子

（2013年9月12日 長野県内芝生ソッド生産圃場）

炭疽病に強い！

バラクーダは国外、国内とも炭疽病に掛かりにくいことが確認されています。



バラクーダのターフにはピシウム病と炭疽病の複合感染の症状が見られなかった。

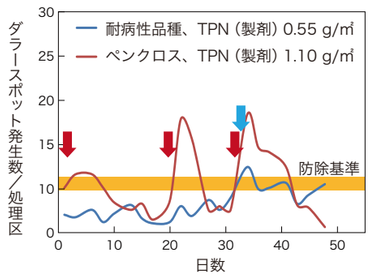
発症後約3週間経過。

右は品種Aのターフのピシウム病と炭疽病の複合感染症状

（2013年9月12日 茨城県内ゴルフ場）

耐病性品種は殺菌剤の散布回数を減らします！

病害抵抗性の高い品種では殺菌散布回数、散布薬量とも低減が可能です。



バラクーダは耐病性に優れ、とくにダラースポット病、炭疽病といった長期にわたってターフクオリティを下げ、ダメージを与え続ける病害への抵抗性が高くなっています。

米国Purdue大学R.Latin博士の研究では耐病性品種を用いることにより殺菌剤散布の薬量や回数を低減でき、コストダウンに繋がることが明らかにされています。

（弊社芝草セミナー2013資料）

また、バラクーダは雪腐病にも強く、年間を通じて良好なターフを形成します。